

## 第64期 決算のご報告

2021年4月1日から2022年3月31日まで

# 株主通信

### CONTENTS

- ① 株主の皆様へ
- ② 連結決算ハイライト
- ③ トピックス
- ⑤ 連結財務諸表
- ⑦ セグメント別概況
- ⑨ 会社の概要



株式会社 **丸順**

証券コード：3422

## 株主の皆様へ

## ご挨拶



平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
さて、このたび当社第64期決算（2021年4月1日から2022年3月31日まで）を終了いたしましたので、ご報告を申し上げます。  
株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役 社長執行役員 齊藤 浩

## 連結業績の概況

当連結会計年度における世界経済は、新型コロナウイルスワクチン接種の進展に伴う活動制限の緩和を背景に景気は回復傾向にあるものの、急激な需要の拡大や資源価格の高騰を背景としたインフレ、物流混乱に伴う輸送コストの高騰、ロシアのウクライナ侵攻など様々な懸念材料を抱えており、依然として先行き不透明な状況が続いております。米国では、長期化するインフレが企業活動の足かせとなった一方、コロナ禍で積みあがった貯蓄の取り崩しにより個人消費等の内需が堅調さを維持したことで、景気回復は持続いたしました。欧州では、ワクチン接種の進展に伴い多くの国が活動制限の緩和に踏み切ったことで、経済活動の正常化が進み、景気は新型コロナウイルス流行前の水準まで回復しております。中国では、景気は回復基調が続いているものの、一部の地域で春節と五輪を見据えた「ゼロコロナ」政策が実施され、活動制限が強化されたことにより、景気回復は鈍化いたしました。日本では、景気は持ち直しの傾向にあるものの、感染再拡大に伴うまん延防止等重点措置の発令や自粛ムードの高まりを受け、景気回復は鈍化いたしました。

当社グループが属する自動車業界においては、タイでは、新規感染者数の減少に伴う活動制限の緩和や先進国経済の正常化に伴い、市場環境は持ち直しの傾向にあるものの、変異株による感染再拡大及び原材料価格の高騰等不安定要素も多く、依然として先行き不透明な状況が続いております。中国では、新エネルギー車市場は好調を維持したものの、半導体供給不足及び原材料価格高騰等の影響は大きく、市場は依然として不安定な状況が続いております。日本では、10月に緊急事態宣言が解除されたことで、生産は回復基調が続いていたものの、2022年以降に変異株による感染が再拡大したことにより、各自動車メーカーで工場の稼働停止が相次ぎ、生産台数は前年比で減少となるなど、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、中長期5か年計画の4年目として、競争力基盤の確立及び財務体質の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は45,663百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は2,931百万円（前年同期比34.3%減）、経常利益は2,679百万円（前年同期比36.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,996百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

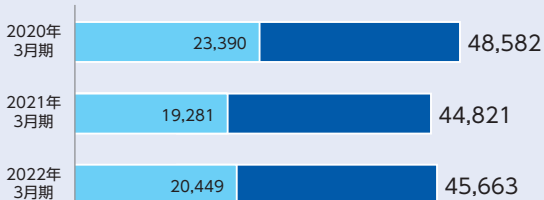
当社グループでは、競争力基盤の確立としてボディ部品事業（車体骨格部品事業）を「主力事業」、電動化部品事業及び金型事業を「戦略事業（次の10年に飛躍するための成長ドライバー）」に位置づけ、効率経営と競争力強化を目指し、売上高営業利益率をKPI（重要業績評価指標）としております。売上高営業利益率については、中長期5か年計画最終年度となります2023年3月期において9.0%以上を目標数値としておりますが、当連結会計年度では半導体供給不足等による減産影響及び原材料価格高騰等の影響により6.4%となりました。

# 連結決算ハイライト

## 売上高

45,663百万円 • 前年同期比 ↑

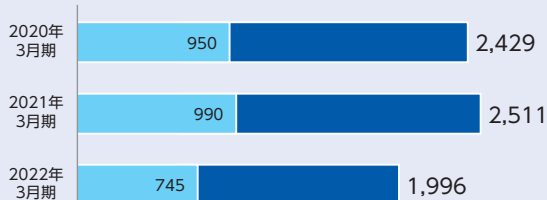
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



## 親会社株主に帰属する当期純利益

1,996百万円 • 前年同期比 ↓

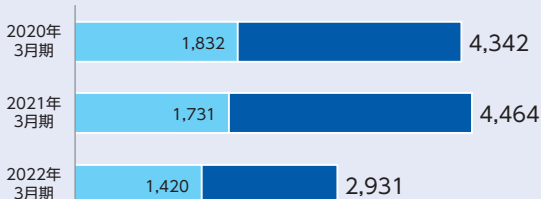
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



## 営業利益

2,931百万円 • 前年同期比 ↓

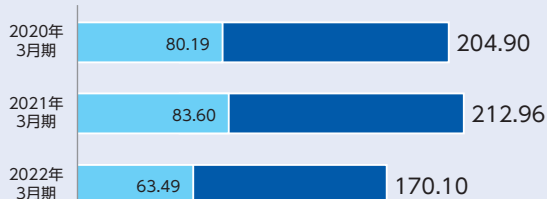
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



## 1株当たり親会社株主に帰属する当期純利益

170.10円 • 前年同期比 ↓

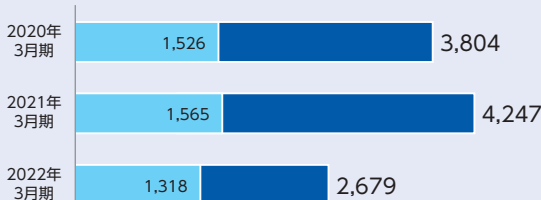
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 円)



## 経常利益

2,679百万円 • 前年同期比 ↓

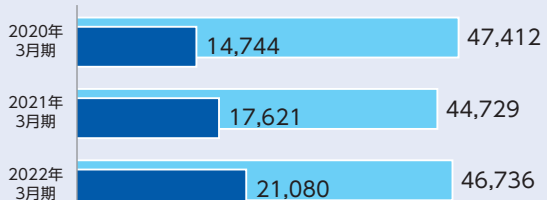
■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円)



## 総資産・純資産

46,736百万円 • 21,080百万円

■ 総資産 ■ 純資産 (単位: 百万円)



## トピックス

Topics  
1

## 日本丸順 レクサスNX・カローラクロス・bZ4X生産開始

日本丸順は、資本業務提携先である東プレ株式会社、主要客先である株式会社アイシン及びゲスタンプ・ホットスタンピング・ジャパン株式会社の3社より、2021年度にトヨタ自動車株式会社から発売された、レクサスNX、カローラクロス及び2022年5月よりリース販売が開始されたbZ4Xの3車種の部品を受注し量産を開始しております。

当該部品は、各車におけるボディ骨格や機能部分を構成するプレス部品であり、当社の得意分野である、環境負荷の少ない冷間成形による高張力鋼板（スーパーハイテン材）加工技術及び大型プレス機を活かした高品質且つ低コストな生産体制等の提案により、受注につなげることができました。

当該部品がハイブリッド車や電気自動車のボディ部品に採用されたことにより、車体の軽量化に伴う燃費性能の向上に加え、生産工程における二酸化炭素排出量を削減する等、当社事業活動を通じた地球環境への貢献にも努めております。



トヨタ自動車(株)「レクサスNX」



トヨタ自動車(株)「カローラクロス」



トヨタ自動車(株)「bZ4X」

Topics  
2

## 日本丸順 NISSANサクラ 部品量産開始

日本丸順は、資本業務提携先である東プレ株式会社より、日産自動車株式会社(以下、NISSAN)にて2022年5月発表の新型 軽EV車サクラの部品量産を2022年3月より開始いたしました。

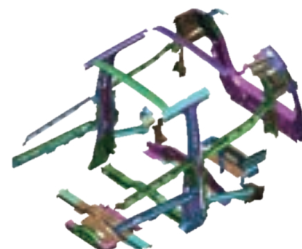
2019年3月に発売されたNISSAN デイズ、2020年3月に発売されたNISSAN ルークスに続き多くのボディ骨格部品及び電動化に関連する部品を受注しております。

当社の得意分野である超高張力鋼板（スーパーハイテン材）の加工技術はもちろんのこと、経験豊富な電動化部品の加工技術によって、キャビン周りのボディ骨格部品及びバッテリー周りの電動化部品を多数受注しており、サクラのボディ構成に大きく貢献しております。

このサクラは、“軽”の概念を覆すEVならではの力強い加速、滑らかな走り、そして高い静粛性を兼ね備える、市場注目度の高いモデルであります。今後も成長性の高い電気自動車等における受注拡大を推進し、当社の戦略事業である電動化部品事業の更なる強化を図ってまいります。



日産自動車(株)「サクラ」



「サクラ」 当社受注部品群



Topics  
3

## 日本丸順 スズキより金型を受注

日本丸順は、スズキ株式会社（以下、スズキ）より2022年度に納入予定の自動車部品用の金型を受注いたしました。

当社は、金型メーカーとして創業以来、金型ノウハウの蓄積及び金型製造技術の進化と熟成により、外板部品や骨格部品等の大型且つ高度な技術を要する金型を受注しております。このような中、中長期5か年計画にて戦略事業と位置づける金型事業の売上拡大を目指し、過去に受注実績のあるスズキとの金型取引の再開に向け営業活動を重ねた結果、当社の金型製造技術やコスト対応力等が評価され、今回の受注につながりました。

今後は、更なるQ（品質）、C（コスト）、D（デリバリー）における競争力向上を図り、継続的な受注獲得につなげてまいります。



参考イメージ図

Topics  
4

## 日本丸順 岡山に新工場建設

日本丸順は、2019年度から三菱自動車工業株式会社水島製作所において生産されている日産自動車及び三菱自動車の軽自動車部品の生産を開始し、駐在事務所を開設する等、岡山地区の事業強化を図ってまいりましたが、更なる受注拡大・競争力強化を目指し、この度、岡山県に新工場を建設いたします。

新工場においてはロケーションを活かしたQ（品質）、C（コスト）、D（デリバリー）における利益体質向上による競争力の向上を図るとともに、非鉄金属対応を可能とする大型トランスファープレス機等の設備導入に加え、最適な物流導線や工場レイアウトにすることで、生産性向上や高効率化を図るなど、更なる事業強化を推進してまいります。

また、太陽光発電を含むグリーン電力を活用する等、地球環境に最大限配慮するとともに、ジェンダーレスの職場環境整備など、ESGの観点を反映させ、全てのステークホルダーに満足いただける新工場を目指してまいります。



新工場 完成イメージ図

Topics  
5

## 広州丸順 成都普什汽車模具有限公司との業務提携

広州丸順社は、中国最大級の規模を誇る国営酒造メーカー五糧液集团有限公司傘下の普什グループである成都普什汽車模具有限公司（以下、成普汽模社）と2022年1月戦略的業務提携契約を締結いたしました。

市場拡大が続く中国自動車市場において、広州丸順社の強みであるハイテン金型製作及びハイテン部品の生産能力と、成普汽模社の強みである自動車外板金型製作能力の相互補完により、事業の拡大を図っております。同年2月には、成普汽模社より新規金型案件を受注し、金型売上及び新規顧客拡大へと結び付けております。

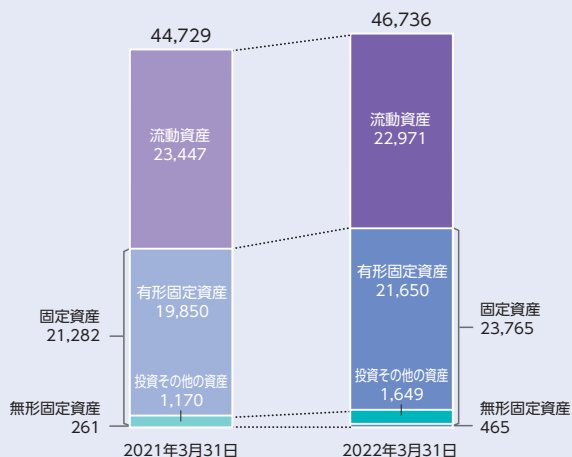
今後、自動車関連メーカーの進出が著しい中国・四川省における生産拠点確保及び競争が激化している中国・広東省における自動車部品事業を強化するため、成普汽模社との関係をより強固にし、引き続き積極的に受注拡大を図ってまいります。

## 連結財務諸表

## 連結貸借対照表(要旨)

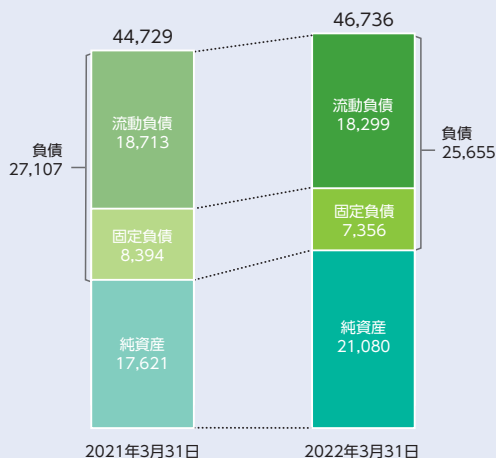
## 資産の部

(単位：百万円)



## 負債・純資産の部

(単位：百万円)



(単位：百万円)

《資産の部》内訳		2021年3月31日	2022年3月31日	
流動資産	現金及び預金	9,352	6,434	
	受取手形及び売掛金	10,215	—	
	受取手形	—	1,137	
	売掛金	—	10,020	
	商品及び製品	337	469	
	仕掛品	2,044	2,910	
	原材料及び貯蔵品	796	1,173	
	その他	700	829	
	貸倒引当金	—	△2	
	固定資産	有形固定資産	建物及び構築物	4,628
機械装置及び運搬具			7,091	7,494
工具、器具及び備品			4,935	5,438
土地			619	618
リース資産			34	15
建設仮勘定		2,541	3,565	
無形固定資産		261	465	
その他の資産		投資有価証券	286	286
		退職給付に係る資産	249	275
		繰延税金資産	264	553
	その他	381	544	
	貸倒引当金	△10	△10	

(単位：百万円)

《負債・純資産の部》内訳		2021年3月31日	2022年3月31日	
負債の部	流動負債	支払手形及び買掛金	6,342	6,965
		短期借入金	6,970	6,298
		1年内返済予定の長期借入金	1,011	1,010
		リース債務	19	7
		未払金	1,752	1,907
	未払法人税等	371	179	
	賞与引当金	186	182	
	役員賞与引当金	11	11	
	その他	2,046	1,734	
	固定負債	社債	1,500	1,500
長期借入金		5,451	4,438	
リース債務		14	6	
退職給付に係る負債		1,181	1,150	
役員株式給付引当金		8	18	
資産除去債務		235	239	
その他		2	1	
純資産の部	株主資本	資本金	1,950	1,950
		資本剰余金	1,952	2,003
		利益剰余金	9,349	11,202
		自己株式	△75	△75
	その他の利益	その他有価証券評価差額金	48	38
		為替換算調整勘定	1,303	3,013
		退職給付に係る調整累計額	60	76
非支配株主持分	3,033	2,870		

## 連結貸借対照表について

資産総額の増加要因は、現金及び預金が2,917百万円減少、売掛金が1,031百万円増加、仕掛品が865百万円増加、原材料及び貯蔵品が376百万円増加、機械装置及び運搬具、建設仮勘定、繰延税金資産等の固定資産が2,482百万円増加したこと等であり、負債総額の減少要因は、支払手形及び買掛金が622百万円増加、短期借入金が671百万円減少、未払法人税等が191百万円減少、長期借入金が1,013百万円減少したこと等であり、純資産の増加要因は、利益剰余金が1,853百万円増加、為替換算調整勘定が1,710百万円増加したこと等であり、

## 連結損益計算書について

売上高は、半導体供給不足に伴う主要客先の減産影響を受けたものの、円安による為替変動により増収となりました。

利益面については、原材料価格の高騰及び主要客先の生産変動に伴う労務費負担の増加に加え、前年同期は量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収があったこと等が影響し、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。

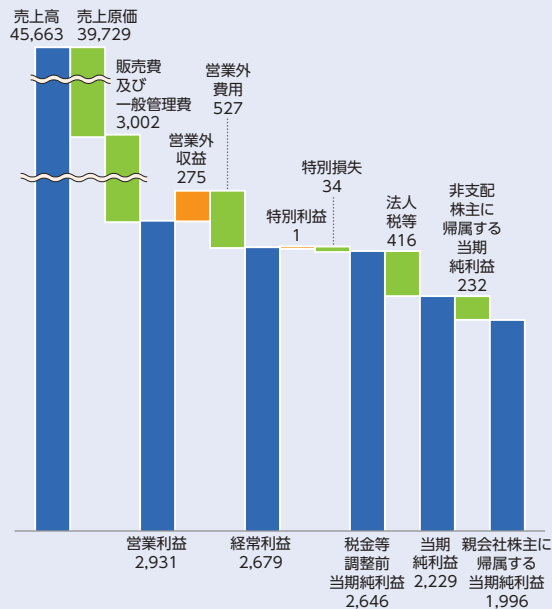
## 連結キャッシュ・フロー計算書について

現金及び現金同等物の残高は6,091百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,260百万円減少いたしました。営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益2,646百万円、減価償却費3,597百万円、たな卸資産の増加額1,816百万円、法人税等の支払額918百万円等によるものです。投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の預入による支出686百万円、有形固定資産の取得による支出3,409百万円等によるものです。財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金1,015百万円の減少、長期借入金1,010百万円の減少、連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出661百万円等によるものです。

## 連結損益計算書(要旨)

2021年4月1日～2022年3月31日

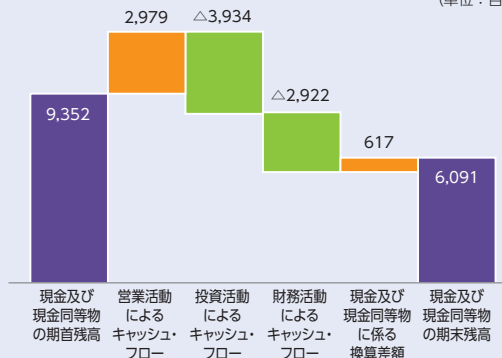
(単位：百万円)



## 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

2021年4月1日～2022年3月31日

(単位：百万円)



## セグメント別概況

## セグメント別

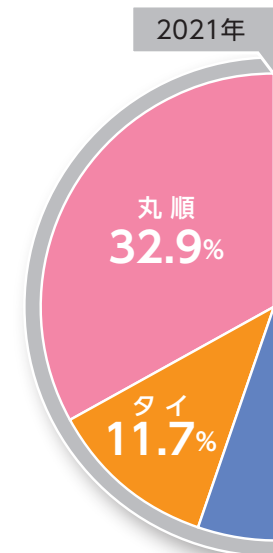
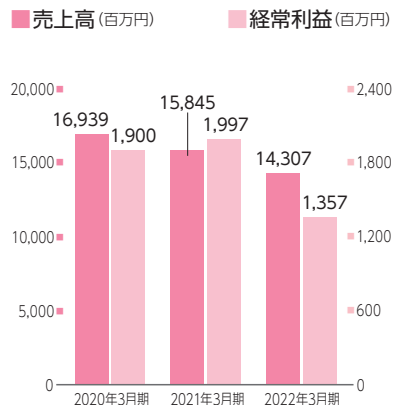
丸順  
〔株式会社丸順〕

## 減収減益

丸順においては、半導体供給不足に伴う主要客先の減産影響及び金型設備等の販売が減少したこと等により、売上高は減少いたしました。なお、生産効率改善による労務費及び物流効率改善による経費等の継続的な原価低減活動を推進したものの、原材料価格の高騰及び売上高減少の影響が大きく、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は14,307百万円（前年同期比9.7%減）、経常利益は1,357百万円（前年同期比32.0%減）となりました。

丸順においては、資本業務提携先である東プレ株式会社とのシナジーの最大化を図る等、中長期5か年計画を強力に推進しております。また、次期中長期計画に向けては、受注強化のための新たな生産拠点の整備を進める等、更なる経営基盤の強化を目指し、グループ全体の成長を牽引しております。

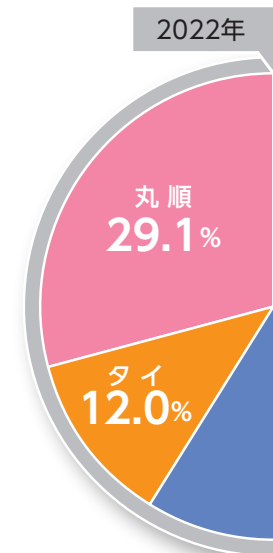
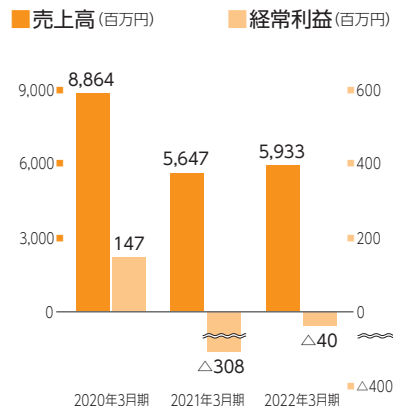
タイ  
〔タイ・マルジュン社〕

## 増収増益

タイにおいては、主要客先の国内向け及び輸出向け自動車部品並びに汎用エンジン部品等を中心とした生産の回復により売上高は増加いたしました。なお、生産部品の内製化推進による購入費等の原価低減活動の推進に加え、構造改革に伴う固定費削減等の利益体質改善の推進により、損失は減少いたしました。

以上の結果、売上高は5,933百万円（前年同期比5.1%増）、経常損失は40百万円（前年同期は308百万円の経常損失）となりました。

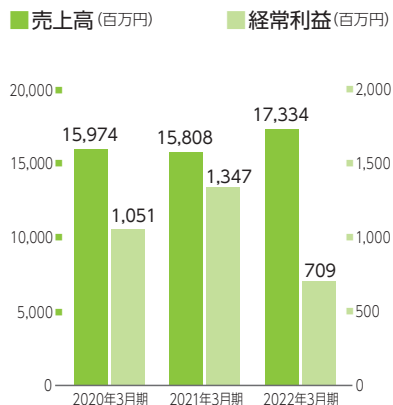
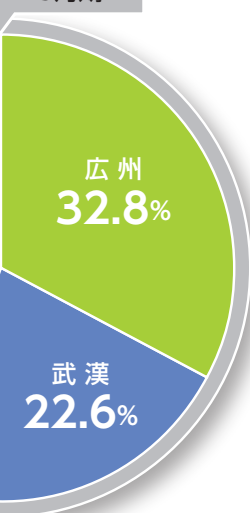
タイにおいては、タイ国内及び輸出先である周辺国における市場が成熟化する中、自動車安全装備部品の市場拡大に対応した受注強化を展開しております。また、安定的な利益体質構築に向けた構造改革の取り組みを推進し、その効果が表れてきております。





## 売上高構成比率

3月期



### 増収減益

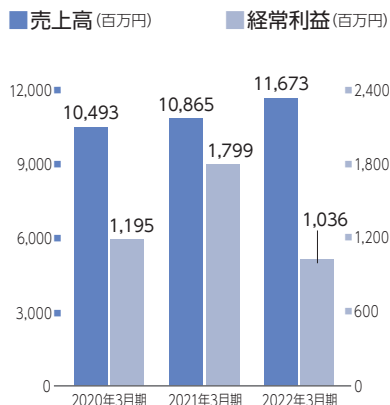
広州においては、新型コロナウイルス影響は回復傾向にあるものの、半導体供給不足に伴う主要客先の減産影響等により売上高は現地通貨ベースでは前年同期と同水準となりましたが、円安による為替変動により邦貨ベースでは増加いたしました。なお、生産効率改善による要員適正化に伴う労務費等の原価低減活動を推進したものの、原材料価格の高騰及び主要客先の生産変動に伴う労務費負担の増加等の影響により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は17,334百万円（前年同期比9.7%増）、経常利益は709百万円（前年同期比47.4%減）となりました。

広州においては、中国拠点のマザー機能を有し、今後成長性の高い電動化部品等の新規受注拡大に取り組むとともに、事業提携戦略を推進し、中核拠点として更なる収益拡大に努めております。

【広州丸順汽車配件有限公司】  
広州

3月期



### 増収減益

武漢においては、新型コロナウイルス影響は回復傾向にあるものの、半導体供給不足に伴う主要客先の減産影響等により売上高は現地通貨ベースでは前年同期と同水準となりましたが、円安による為替変動により邦貨ベースでは増加いたしました。なお、調達業務改善による購入費及び物流効率改善による経費等の継続的な原価低減活動を推進したものの、原材料価格の高騰及び主要客先の生産変動に伴う労務費負担の増加等の影響に加え、前年同期は量産車種終了に伴う金型投資費用の未回収分の回収があったこと等により、利益は減少いたしました。

以上の結果、売上高は11,673百万円（前年同期比7.4%増）、経常利益は1,036百万円（前年同期比42.4%減）となりました。

武漢においては、生産効率化や原価低減活動による量産機能の強化に加え、異素材加工の技術確立に積極的に取り組む等、更なる事業基盤の強化に努めております。

【武漢丸順汽車配件有限公司】  
武漢

## 会社の概要

### 会社概況

(2022年3月31日現在)

#### 商号

株式会社 丸順  
(英文社名: MARUJUN CO., LTD.)

#### 創業

1952年7月

#### 設立

1960年1月

#### 資本金

1,950百万円

#### 事業内容

自動車用車体プレス部品の製造  
自動車用精密プレス部品の製造  
各種金型の設計・製作  
治具・検査具の設計・製作

#### 従業員数

318名 (連結1,911名)

#### 電話番号 (代表)

0584-46-3191

### 役員

(2022年6月24日現在)

#### 1. 取締役・監査役

代表取締役	齊藤 浩
取締役	青山 秀美
取締役	猪熊 篤俊
取締役	山崎 英次
取締役	露木 好則
取締役(社外)	竹内 治彦
取締役(社外)	柳澤 民紀
取締役(社外)	大倉 睦美
常勤監査役(社外)	須長 敏彦
監査役(社外)	馬淵 仁
監査役(社外)	水谷 博之
監査役(社外)	澁谷 英司

#### 2. 執行役員

社長執行役員	齊藤 浩
常務執行役員	青山 秀美
常務執行役員	猪熊 篤俊
上席執行役員	松井 恒夫
上席執行役員	棚橋 哲郎
上席執行役員	山崎 英次
執行役員	森 和行
執行役員	小見山 肇
執行役員	山口 忠美
執行役員	本田 喬之

### 事業拠点

(2022年6月24日現在)

#### 本社・上石津工場

岐阜県大垣市上石津町乙坂130-1

#### 浅西工場

岐阜県大垣市浅西3-22-22

#### 養老工場

岐阜県大垣市上石津町牧田2947-1

#### 鈴鹿工場

三重県鈴鹿市国府町7755

(株式会社 日本陸送内)

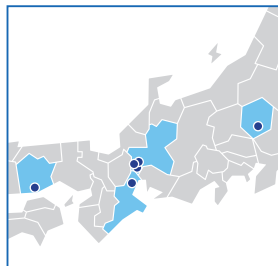
#### 栃木開発センター

栃木県宇都宮市ゆいの杜1-5-40

とちぎ産業交流センタービル202号室

#### 岡山駐在事務所

岡山県倉敷市神田1-5-22



#### 広州丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国広東省広州市

広州経済技術開発区永和経済区

永盛路8号



#### 武漢丸順汽车配件有限公司(子会社)

中華人民共和国湖北省武漢市

東湖新技術開発区光谷一路223号

#### タイ・マルジュン社(子会社)

NONG KHAE INDUSTRY ESTATE BAN

NONGSAMAK 62 MOO-6, KOKYAE, NONG

KHAE, SARABURI 18230, THAILAND

#### ベステックス・MM・インディア社(出資会社)

SPL-2B, TAPUKARA INDUSTRIAL AREA, KHUSHKHERA,

DISTT. ALWAR, RAJASTHAN-301707, INDIA

## 株式の状況

(2022年3月31日現在)

発行可能株式総数	39,000,000株
発行済株式の総数	11,857,200株 (自己株式289株含む)
株主数	1,997名

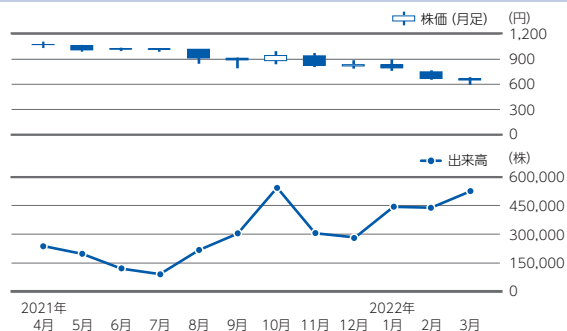
## 大株主の状況

(2022年3月31日現在)

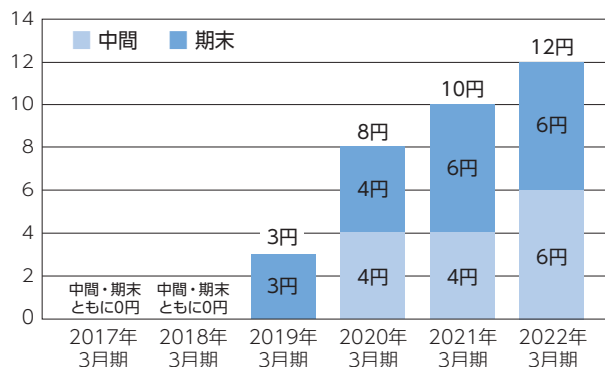
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
東プレ株式会社	2,370,700	19.99
今川喜章	1,022,770	8.63
本田技研工業株式会社	988,950	8.34
太平洋工業株式会社	463,950	3.91
名古屋中小企業投資育成株式会社	371,000	3.13
今村金属株式会社	343,400	2.90
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	338,800	2.86
株式会社三菱UFJ銀行	325,000	2.74
丸順取引先持株会	305,300	2.57
株式会社大垣共立銀行	300,000	2.53
有限会社イマガワ	300,000	2.53

(注) 当社は、自己株式289株を保有しております。また、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 株価チャート



## 配当金の推移

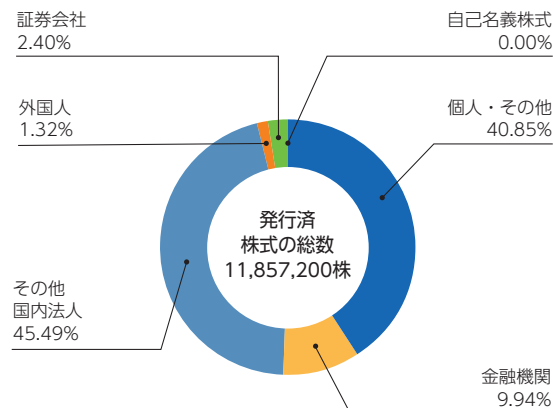


当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策の一つであると考えており、配当性向、株主資本配当率、内部留保及び今後の業績動向等を総合的に勘案し、長期的視点に立った成果配分を行うことを基本方針としております。

上記方針に基づき、当期における年間配当金は、1株につき12円(中間配当は6円、期末配当は6円)を実施させていただきます。

## 株式数構成比

(2022年3月31日現在)



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月

基準日 期末配当 毎年3月31日  
中間配当 毎年9月30日

定時株主総会基準日 毎年3月31日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063  
東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部  
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

- 住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- 未払配当金の支払について  
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

 ホームページ

決算情報をはじめとするIR情報から技術の紹介など様々な会社情報を随時更新・掲載しております。ぜひ、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.marujun.co.jp/>

丸 順

検索

